

# 令和元年度

## 第1回 大船渡市立博物館協議会

日 時 令和元年5月28日(火)10:30  
場 所 大船渡市立博物館 多目的ホール

### 次 第

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 大船渡市立博物館協議会会長の選任等について
- 4 報 告
  - (1) 平成30年度 大船渡市立博物館事業実績について
- 5 協 議
  - (1) 令和元年度 大船渡市立博物館事業計画について
- 6 その他
- 7 閉 会

※添付資料

- ・平成30年度入館者の状況
- ・博物館事業 成果指標達成状況一覧

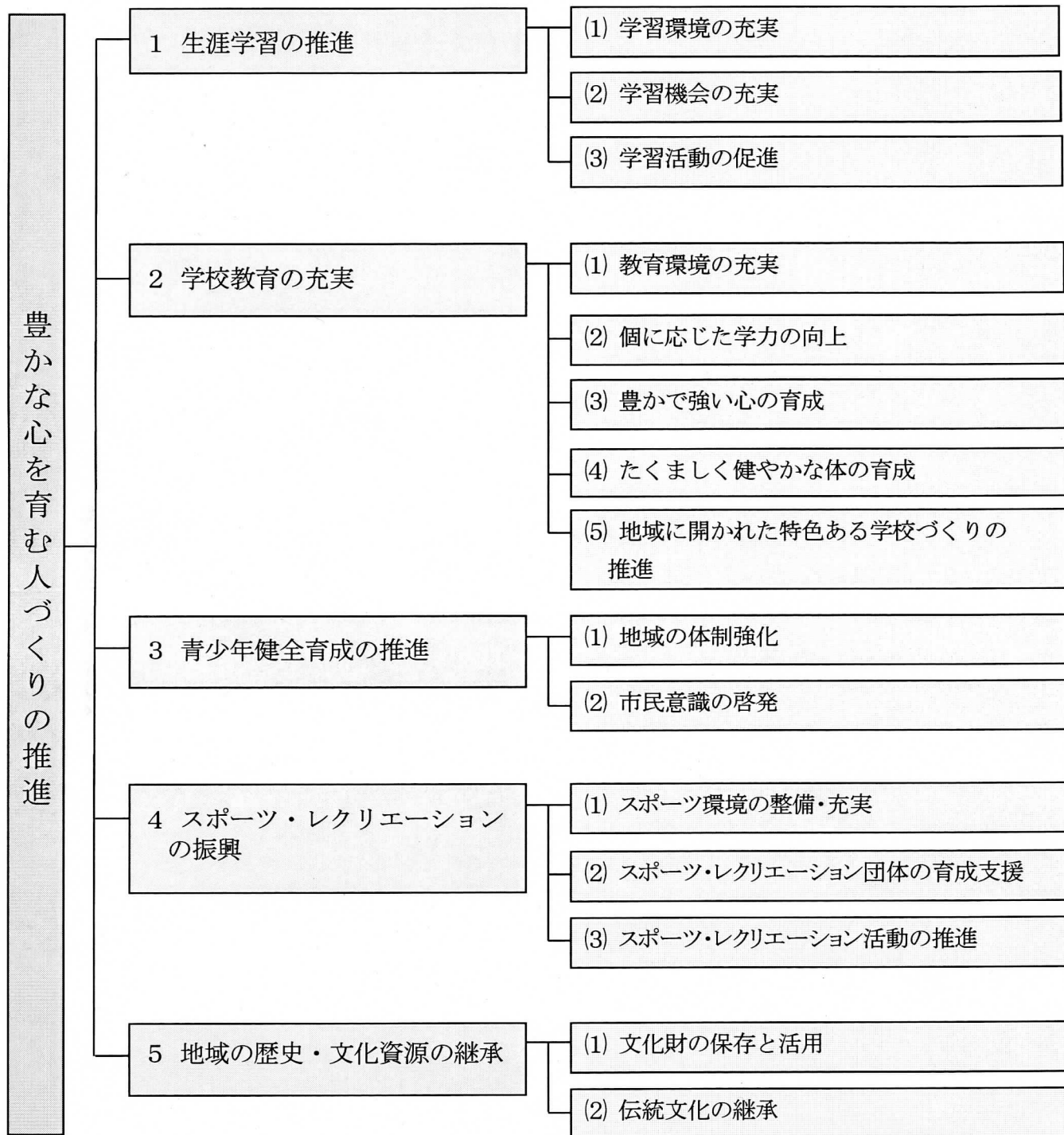
大船渡市立博物館

# 計画の体系

【基本方針】

【施策】

【基本事業】



### 3 大船渡市立博物館協議会会長の選任等について

大船渡市立博物館協議会長及び会長職務代理者の任期満了に伴い、大船渡市立博物館管理運営規則第9条の規定により、会長の選任及び会長職務代理者の指名を求めます。

令和元年5月28日

大船渡市立博物館長 平田 功

#### 大船渡市立博物館協議会委員 名簿

氏名	任命区分	新再	備考
多田喜夫	学校教育関係者	再任	
熊谷美知子	社会教育関係者	再任	
小松英子	社会教育関係者	再任	
佐藤真優子	家庭教育関係者	再任	
西村文利	学識経験者	新任	
中嶋敬治	社会教育関係者	新任	

#### 博物館法（抜粋）

（博物館協議会）

第20条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

#### 大船渡市立博物館条例（抜粋）

（博物館協議会）

第12条 法第20条第1項の規定に基づき、博物館に大船渡市立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、委員10人以内をもって組織し、委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が任命する。

#### 大船渡市立博物館管理運営規則（抜粋）

（協議会の所掌）

第8条 条例第12条の規定による大船渡市立博物館協議会（以下「協議会」という。）は、博物館長の諮問に応じ、次に掲げる事項に関し、調査審議するとともに、博物館長に対して意見を述べるものとする。

(1) 資料の収集、保管及び展示等に関すること。

(2) 資料の調査研究、利用等に関すること。

(3) その他博物館の運営に関すること。

（会長）

第9条 協議会に会長を置き、委員の互選とする。

2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長が指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第10条 協議会は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（庶務）

第11条 協議会の庶務は、博物館において処理する。

## 4 報告

### (1) 平成 30 年度大船渡市立博物館事業実績について

平成 30 年度大船渡市立博物館事業の実績について、別紙のとおり報告します。

令和元年 5 月 28 日

大船渡市立博物館長 平田 功

## 平成30年度 大船渡市立博物館事業の実績

### 施策1 生涯学習の推進

<b>基本事業(1)学習環境の充実</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の多様な学習ニーズに対応し、生涯学習施設及び設備の充実に努める。</li> <li>生涯学習施設の老朽化の進行に対応し、適切な維持管理に努める。</li> </ul>
主な取組事項	実施時期	取組状況
施設改修事業	随時	東日本大震災津波映像コンテンツ(多言語)の制作。シアター、考古・民俗映像機器、地質展示室展示パネル、受電設備、受水槽、加圧給水ポンプの更新。外
管理事業	随時	浄化槽蓋の更新。受付窓、正面階段の修繕。博物館屋外看板の多言語化。非常用照明交換。外

<b>基本事業(2)学習機会の充実</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>市民各層の多様な学習ニーズに応えるため、関連情報の収集に努め、積極的に周知を図る</li> <li>各種事業の企画にあたり、市民の多様なニーズの把握に努め、魅力ある学習メニュー作りを取組むとともに、若年層や勤労者にも配慮した開催方法を検討する</li> <li>各種資料の収集・保存に努め、広く利用、公開に供しながら、利用促進を図る</li> </ul>
主な取組事項	実施時期	取組状況
管理事業	通年	生涯学習情報の提供 市広報、市ホームページ・ツイッター等による情報提供
	通年	特別開館 大型連休を含む祝日、夏休み中の月曜日等 計16日間 (2,210人) 無料開放 碓石海岸観光まつり、東北文化の日関連等 計8日間 (2,064人)
	通年	市民ギャラリー 利用者3団体(筆文字展11月、パステルアート展12月、長寿書初展1~2月)
展示事業	通年	リーフレット無料配布、博物館・椿館共通入館券の発行、展示説明等 入館者数 7,657名(高校生以下1,337名、一般6,320名) うち共通券401名、開館日数307日
教育普及事業 (体験学習・自然観察)	4~8月 10月 12月	縄文缶バッジづくり(4/28~5/6) 51人、(8/11~15) 18人 地質観察会(10/21) 34人 まがたまをつくろう!(12/16) 26人
教育普及事業 (学習相談・研究対応)	通年	市民・来館者等からの生涯学習相談 29件(地質17件、歴史6件ほか) 研究者・専門家等への専門研究支援 4件(地質4件)
	通年	個人所蔵資料燻蒸サービス 利用数5名(9~10月、掛軸、和本、古文書等)
教育普及事業 (各種実習・研修対応)	8~10月	博物館実習1人(八洲学園大学) インターンシップ2人(大船渡東高)
教育普及事業 (連携事業)	通年	中央公民館・図書館と連携 8/31 市民講座「三陸の災害と文化」 聴講者47人 10/12 市民講座「ジオ(地球)ドラマチック 秋」 聴講者43人 市立小学校と連携 博物館スクール 4校(日頃市小8人、末崎小22人、越喜来小12人、吉浜小10人) 国立科学博物館と連携 教員のための博物館の日(7/31) 参加教員等45人 兵庫県立人と自然の博物館と連携 おおふなと しぜん かわらばん2018(募集7~8月、作品展10月) 応募作品63点
	通年	学校等の団体利用 7施設(大仙中43人、聖光学院中24人、気仙光陵支援学校23人、末崎中32人、猪川小50人、綾里小12人、越喜来小26人、釜石祥雲支援学校13人)
	通年	職員派遣 末崎の昔を考える会「ジオパーク学習会」20人、五葉山自然倶楽部「碓石海岸・穴通磯・三面椿をゆく」22人、碓石海岸観光施設等連絡会議「三陸ジオパーク学習会」32人、岩手県科学教育研究会「生物地学実地研究会」20人、県高校教育研究会理科部会気仙・釜石支部「気仙地域の地質と化石について」16人外
教育普及事業 (資料の特別利用)	通年	貸出 14件(貝塚資料、被災状況写真パネル、かつぎ棒等) 撮影等 9件(津波浸水図、大津波写真展資料、土偶、大船渡のまるた等)

### 市民意識調査から

対象	意 図	成 果 指 標	目標	基準値	実 績		
			H32	H26	H28	H29	H30
市 民	主体的に学ぶことを通じて自己実現を図る	「日頃、何らかの学習活動に取組んでいる」と答えた市民の割合(市民意識調査)	45.0%	31.9%	32.4%	41.3%	31.0%
		「日頃、学習活動に取組んだ成果を生かしている」と答えた市民の割合(市民意識調査)	45.0%	18.4%	12.5%	22.0%	15.2%

施策5 地域の歴史・文化資源の継承

<b>基本事業</b> <b>(1)文化財の保存と活用</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重な文化財の調査研究及び適切な保護・保存を図り、市民はもとより広範な活用に供する。</li> <li>・有形・無形の知的情報を収集・保存し、その活用に供するため、市立図書館及び市立博物館の機能充実を図るとともに、デジタルアーカイブ等ICTの活用について検討する。</li> <li>・埋蔵文化財の保存・研究の場の確保について調査・検討する。</li> </ul>	
<b>主な取組事項</b>	<b>実施時期</b>	<b>取組状況</b>
収集保管事業	通年  9～10月	資料収集 寄贈27件（東日本大震災動画・写真、民俗資料等）、採集2件（新聞、津波浸水域図）、移管1件（チリ地震津波被害写真）、寄託1件（古文書、裱） 資料整理 東日本大震災関係映像記録類整理 資料保管 館内・文化財収蔵庫・民俗資料保管庫の温湿度記録、文化財用殺虫剤の設置  収蔵庫・特別収蔵庫等の密閉燻蒸（作業期間中は臨時休館）
調査研究事業	通年  4～1月	三陸ジオパークジオサイト調査（碓石浜、館ヶ崎角岩岩脈、合足の津波石、滝観洞）4日間、気仙地域出土人骨調査3日間  末崎町県道新設露頭写真記録（船河原～峯岸、山根～中森）2日間
展示事業	通年  4～2月 3月～ 10～1月 10月 12月 3月 通年	常設展示「大船渡 その海と大地」の公開、リーフレット増刷（4,000部） 特別陳列「東日本大震災 大津波写真展」 入館者7,219人 特別陳列「東日本大震災 大津波写真展2019」 入館者438人 企画展「気仙の石器と岩石Ⅰ」 入館者875人 企画展「気仙の石器と岩石Ⅰ」展示解説書刊行 500部 企画展「気仙の石器と岩石Ⅰ」展示解説会 28人 東日本大震災津波映像「荒れ狂う海 ～津波常習地・大船渡～」シアターで公開 完全版20分、短縮版5分、多言語対応 特別陳列「三陸ジオパークコーナー」の公開

市民意識調査から

対象	意 図	成 果 指 標	目標	基準値	実 績		
			H32	H26	H28	H29	H30
市民	郷土の伝統や文化を知り、郷土に誇りと愛着を持つ	「郷土の伝統文化や文化財を大切にしたい」と答えた市民の割合（市民意識調査）	80.0%	79.4%	80.2%	79.9%	81.4%

## 5 協議

### (1) 令和元年度大船渡市立博物館事業計画について

令和元年度大船渡市立博物館事業の計画について、意見を求めます。

令和元年5月28日

大船渡市立博物館長 平田 功



令和元年度 大船渡市立博物館事業計画

施策1 生涯学習の推進

<b>基本事業(1)学習環境の充実</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の多様な学習ニーズに対応し、生涯学習施設及び設備の充実に努める。</li> <li>・生涯学習施設の老朽化の進行に対応し、適切な維持管理に努める。</li> </ul>	
<b>主な取組事項</b>	<b>実施時期</b>	<b>取組内容</b>
管理事業	通年	施設・設備の保守管理、建物修繕
施設改修事業	10月	考古・民俗展示室空調機更新
	10～3月	常設展示改修に係る基本構想の検討
<b>基本事業 (2)学習機会の充実</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民各層の多様な学習ニーズに応えるため、関連情報の収集に努め、積極的に周知を図る</li> <li>・各種事業の企画にあたり、市民の多様なニーズの把握に努め、魅力ある学習メニュー作りを取組むとともに、若年層や勤労者にも配慮した開催方法を検討する</li> <li>・各種資料の収集・保存に努め、広く利用、公開に供しながら、利用促進を図る</li> </ul>	
<b>主な取組事項</b>	<b>実施時期</b>	<b>取組内容</b>
管理事業	通年	生涯学習情報の提供(市広報・ホームページ・ツイッター等)
	随時	無料開放(基石海岸観光まつり、東北文化の日等)
	随時	施設供用(市民ギャラリー、多目的ホール等) ※市民ギャラリーは令和元年度で終了予定
教育普及事業 (自然観察・体験学習)	7月	海辺の生物観察会(三陸防災復興プロジェクト2019関連事業) パンフレット刊行
	7～8月	おおふなと しぜん かわらばん 2019 作品展は10月
	7～8月	資料による缶バッジづくり 夏休み期間
	10月	石器石材産地めぐり(気仙の石器と岩石Ⅱ関連事業)
教育普及事業 (学習相談・研究対応)	随時	生涯学習相談、専門研究対応
	8月	博物館実習生・生徒の職場体験学習・教員の社会体験研修の受入
教育普及事業 (連携事業)	随時	社会科見学・被災地学習・理科巡検等の受入 ※各学校と連携
	随時	「博物館スクール」(社会科・理科等の学習支援) ※小学校と連携
	10～11月	「市民講座」2回開催 ※中央公民館・図書館と連携
	7月	「教員のための博物館の日」 ※国立科学博物館等と連携
	随時	職員派遣、三陸ジオパーク活動への協力 ※その他の機関と連携
教育普及事業 (資料の特別利用)	随時	資料の貸出対応(学校授業、他館等) ※東日本大震災の被災状況写真パネルの貸出は令和2年度で終了予定



施策5 地域の歴史・文化資源の継承

<p><b>基本事業</b> <b>(1)文化財の保存と活用</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重な文化財の調査研究及び適切な保護・保存を図り、市民はもとより広範な活用に供する。</li> <li>・有形・無形の知的情報を収集・保存し、その活用に供するため、市立図書館及び市立博物館の機能充実を図るとともに、デジタルアーカイブ等ICTの活用について検討する。</li> <li>・埋蔵文化財の保存・研究の場の確保について調査・検討する。</li> </ul>	
<p>主な取組事項</p>	<p>実施時期</p>	<p>取組内容</p>
<p>収集保管事業</p>	<p>通年</p>	<p>資料収集 気仙地域の自然と文化を理解する上で必要な資料</p>
	<p>通年</p>	<p>資料整理 歴史資料(紙本資料)整理、地質資料(収蔵化石)資料整理等</p>
	<p>通年</p>	<p>資料保管 収蔵庫・特別収蔵庫等の環境管理、文化財用殺虫剤の設置等</p>
	<p>通年</p>	<p>図書資料の収集・管理、収蔵資料の特別利用(撮影・貸出・熟覧等)</p>
	<p>9月</p>	<p>博物館資料燻蒸(収蔵庫・特別収蔵庫)</p>
<p>調査研究事業</p>	<p>通年</p>	<p>専門研究員の設置(考古・歴史・地質・動物・植物の学識経験者) 5名</p>
	<p>通年</p>	<p>研究設備の整備(文献購入)、文化財調査研究事業への協力</p>
	<p>随時</p>	<p>気仙地域出土資料調査(考古)、気仙地域ジオサイト調査(地質)等</p>
<p>展示事業 (常設展示)</p>	<p>通年</p>	<p>入館者サービス(リーフレット新版印刷、配布、共通入館券、展示説明等)、はっけんカード・スケッチ教材の配備、展示設備の維持管理</p>
	<p>通年</p>	<p>シアター ①常設展示案内映像「大船渡 その海と大地」 ②東日本大震災津波映像「荒れ狂う海～津波常習地・大船渡～」</p>
	<p>随時</p>	<p>展示資料の追加・更新</p>
<p>展示事業 (特別展示)</p>	<p>12～2月</p>	<p>「気仙の石器と岩石Ⅱ」 ※図録刊行</p>
	<p>4～6月</p>	<p>「東日本大震災 大津波写真展2019」 (市民ギャラリー)</p>
	<p>2～3月</p>	<p>収蔵資料展(仮称) 出土人骨の復顔ほか</p>
	<p>6～8月</p>	<p>岩手の海とジオの魅力展「気仙と津波」(特別展示室)(三陸防災復興プロジェクト2019事業) 陸前高田市立博物館と協働展示 碇石浜ジオスライサー標本ほか</p>
	<p>6～7月</p>	<p>国立科学博物館・岩手県立博物館・コラボミュージアム「生命のれきし-君につながるものがたり-」(多目的ホール等)(三陸防災復興プロジェクト2019事業) 恐竜全身骨格ほか</p>
	<p>4～5月 9～3月</p>	<p>「三陸ジオパークコーナー」(エントランスホール)</p>

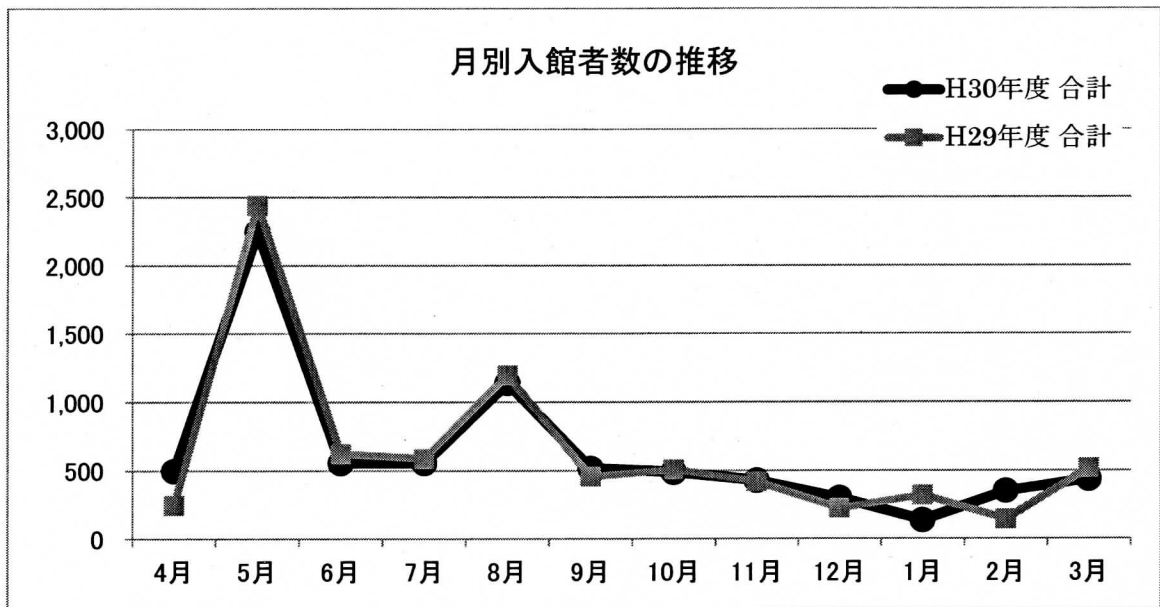
令和元年度 大船渡市立博物館 役職員名簿

役 職	氏 名	任命区分等	任期等	
博 物 館 協 議 会	委員	多 田 喜 夫	学校教育関係者	平成 29 年 4 月 25 日～令和 3 年 3 月 31 日
	委員	熊 谷 美知子	社会教育関係者	平成 29 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日
	委員	小 松 英 子	社会教育関係者	平成 26 年 10 月 20 日～令和 3 年 3 月 31 日
	委員	佐 藤 真優子	家庭教育関係者	平成 29 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日
	委員	西 村 文 利	学識経験者	平成 31 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日
	委員	中 嶋 敬 治	社会教育関係者	平成 31 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日
専 門 研 究 員		金 野 良 一	考古分野	平成 28 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
		大 島 晃 一	歴史分野	平成 2 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
		佐 藤 悦 郎	地質分野	平成 28 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
		鈴 木 まほろ	植物分野	平成 26 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
		朝日田 卓	動物分野	平成 12 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
職 員		平 田 功	館 長	平成 30 年 4 月着任
		鈴 木 康 司	館長補佐	平成 29 年 4 月着任
		白 土 豊	係長/学芸員	平成 3 年 4 月着任
		中 井 秀 幸	主 任	平成 30 年 4 月着任
		工 藤 やよい	学芸員	平成 28 年 4 月着任
		村 田 匠	学芸員 (兼)	生涯学習課 学芸員
		鈴 木 めぐみ	学芸員 (兼)	生涯学習課 学芸員
		中 野 優 美	学芸員 (兼)	生涯学習課 学芸員

## 平成 30 年度入館者の状況

### 1. 月別入館者数（中学生以下／高校生／一般）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30年度	中学生以下	38	468	43	40	267	99	60	105	28	14	47	52	1,261
	高校生	1	22	0	6	16	1	14	0	13	0	1	2	76
	一般	460	1,758	513	510	856	417	415	323	259	123	302	384	6,320
	合計	499	2,248	556	556	1,139	517	489	428	300	137	350	438	7,657
	開館日数	26	27	26	27	28	23	26	25	24	24	25	26	307
前年度比	中学生以下	17	52	19	-8	47	36	6	36	-71	-48	36	2	124
	高校生	1	2	-81	6	-59	-11	-1	0	12	-2	1	-2	-134
	一般	233	-248	-5	-29	-45	34	-25	-28	134	-133	168	-80	-24
	合計	251	-194	-67	-31	-57	59	-20	8	75	-183	205	-80	-34
	開館日数	16	-1	0	-1	-1	2	-1	0	1	0	0	-1	14



### 2. 世界の橿館・基石との共通入館者（一般のみ）

単位：人

	区分等	博物館販売	橿館販売	合計	利用率
平成 30 年度	個人	178	144	322	10%
	団体	59	0	59	26%
	合計	237	144	381	11%
前年度比	個人	100	-22	78	-
	団体	3	0	3	-
	合計	103	-22	81	-

※ 利用率：各区分の有料入館者に占める共通入館券利用者の割合

### 3. 年度別入館者数・入館料

平成31年3月31日現在

年度	入館者										入館料	年間日数	1日平均入館者数					
	小・中学生					高校生								合計				
	個人		団体		小計	個人		団体		小計					有料	無料		
	個人	団体	個人	団体		個人	団体	個人	団体									
昭和57	2,941	733	1,064	4,738	297	32	355	8,112	1,720	3,824	13,656	13,835	4,914	18,749			2,258,900	202
昭和58	2,243	1,093	732	4,068	246	311	557	8,713	1,473	879	11,065	14,079	1,611	15,690	2,310,500	299	52.5	
昭和59	2,484	1,485	710	4,679	277	129	406	10,982	2,069	740	13,791	17,426	1,450	18,876	2,883,850	299	63.1	
昭和60	2,867	1,072	773	4,712	354	403	770	12,185	1,269	811	14,265	18,150	1,597	19,747	3,061,050	297	66.5	
昭和61	2,489	1,317	614	4,420	293	270	563	10,087	1,454	755	12,296	15,910	1,369	17,279	2,621,200	300	57.6	
昭和62	2,569	1,001	680	4,250	273	91	364	11,135	1,121	1,015	13,271	16,190	1,695	17,885	2,752,150	302	59.2	
昭和63	2,441	832	489	3,762	331	227	571	10,159	1,077	1,016	12,252	15,067	1,518	16,585	2,551,400	298	55.7	
平成1	1,921	791	450	3,162	215	113	328	8,515	887	1,031	10,433	12,442	1,481	13,923	2,111,250	298	46.7	
平成2	1,637	833	333	2,803	251	148	399	7,246	871	1,158	9,275	10,986	1,491	12,477	1,837,650	297	42.0	
平成3	1,775	1,152	314	3,241	261	151	414	8,142	1,024	645	9,811	12,505	961	13,466	2,071,350	281	47.9	
平成4	1,358	517	561	2,436	191	32	223	7,377	763	697	8,837	10,238	1,258	11,496	1,783,350	241	47.7	
平成5	1,631	525	844	3,000	267	8	300	7,783	586	1,386	9,755	10,800	2,255	13,055	1,874,700	269	48.5	
平成6	1,177	749	1,083	3,009	123	0	141	6,512	908	1,541	8,961	9,469	2,642	12,111	1,612,200	296	40.9	
平成7	1,197	183	1,070	2,450	194	0	194	6,724	659	1,052	8,435	8,957	2,122	11,079	1,601,600	293	37.8	
平成8	938	208	764	1,910	142	31	173	5,322	718	1,470	7,510	7,359	2,234	9,593	1,907,400	290	33.1	
平成9	820	338	597	1,755	86	2	103	5,634	1,159	1,458	8,251	8,039	2,070	10,109	2,091,950	292	34.6	
平成10	674	538	793	2,005	82	23	106	4,480	1,117	897	6,494	6,914	1,691	8,605	1,732,150	283	30.4	
平成11	702	316	938	1,956	77	0	116	5,100	955	1,384	7,439	7,150	2,361	9,511	1,866,300	289	32.9	
平成12	579	182	580	1,341	69	45	118	3,385	809	1,140	5,334	5,069	1,724	6,793	1,299,600	298	22.8	
平成13	267	290	1,661	2,218	46	23	127	3,799	705	2,268	6,772	5,130	3,987	9,117	1,366,350	287	31.8	
平成14	224	114	2,075	2,413	33	7	115	2,955	541	4,155	7,651	3,874	6,305	10,179	1,055,500	286	35.6	
平成15	(1,482)	(771)	2,253	2,253	(70)	(125)	195	2,321	606	4,026	6,953	2,927	6,474	9,401	917,400	(1,223)	300	31.3
平成16	(1,664)	(608)	2,272	2,272	(74)	(148)	222	2,432	687	4,515	7,634	3,119	7,009	10,128	1,011,850	(1,809)	295	34.3
平成17	(1,763)	(474)	2,237	2,237	(89)	(423)	512	2,122	284	5,125	7,531	2,406	7,874	10,280	792,500	(1,484)	295	34.8
平成18	(1,840)	(354)	2,194	2,194	(115)	(240)	355	1,856	183	4,707	6,746	2,039	7,256	9,295	654,350	(976)	295	31.5
平成19	(1,719)	(377)	2,096	2,096	(85)	(31)	116	1,418	396	3,978	5,792	1,814	6,190	8,004	598,800	(881)	296	27.0
平成20	(1,550)	(241)	1,791	1,791	(99)	(262)	361	1,333	314	4,899	6,546	1,647	7,051	8,698	544,200	(616)	293	29.7
平成21	(1,227)	(606)	1,833	1,833	(140)	(45)	185	1,520	233	3,446	5,199	1,753	5,464	7,217	562,450	(442)	293	24.6
平成22	(953)	(283)	1,236	1,236	(93)	(258)	351	1,241	80	4,427	5,748	1,321	6,014	7,335	431,800	(538)	275	26.7
平成23	(405)	(60)	465	465	(18)	(0)	18	614	88	1,436	2,138	702	1,919	2,621	221,300	(236)	172	15.2
平成24	(1,294)	(400)	1,694	1,694	(121)	(9)	130	1,961	178	3,241	5,380	2,139	5,065	7,204	649,650	(411)	293	24.6
平成25	(915)	(139)	1,054	1,054	(44)	(0)	44	2,407	126	2,880	5,413	2,533	3,978	6,511	727,200	(343)	287	22.7
平成26	(1,143)	(155)	1,298	1,298	(47)	(120)	167	3,341	428	3,715	7,484	3,769	5,180	8,949	1,012,300	(848)	293	30.5
平成27	(1,684)	(236)	1,920	1,920	(69)	(122)	191	3,454	211	4,095	7,760	3,665	6,206	9,871	1,038,150	(605)	294	33.6
平成28	(1,299)	(212)	1,511	1,511	(152)	(12)	164	3,018	237	4,659	7,914	3,255	6,334	9,589	917,900	(559)	305	31.4
平成29	(1,136)	(1)	1,137	1,137	(130)	(80)	210	2,705	283	3,356	6,344	2,988	4,703	7,691	855,450	(300)	293	26.2
平成30	(1,038)	(223)	1,261	1,261	(64)	(12)	76	3,308	251	2,761	6,320	3,559	4,098	7,657	1,044,850	(401)	307	24.9
累計	(54,046)	(19,409)	43,377	90,580	(5,518)	(3,933)	3,586	189,398	26,470	90,588	306,456	269,225	137,551	406,776	54,630,550	(11,672)	10,583	38.4

※平成15年度以降、小・中学生、高校生は入館料無料 ( )数値は内訳

は有料入館者数

## 博物館所管事業 成果指標達成状況一覧

事務事業名	対象	意 図	指標名	単位	成果指標				目標値 (R2)
					実績値				
					H27	H28	H29	H30	
博物館管理事業	博物館利用者 (市民・観光客) 博物館施設・設備	快適な環境で気仙地域の自然と文化を学ぶことができる。	施設設備の故障・不具合発生件数・不具合対応率	件 %	19件 84%	7件 100%	9件 100%	14件 100%	7件 100%
博物館施設改修事業	博物館利用者 (市民・観光客) 博物館施設・設備	快適な環境で気仙地域の自然と文化を学ぶことができる。	施設設備の改修済件数	件	3	4	10	5	10
博物館教育普及事業	市民	教育普及事業を通して、気仙地域の自然と文化について学ぶことができる。	教育普及事業への参加者数	人	1,113	827	915	759	900
博物館調査研究事業	気仙地域の自然と文化を理解する上で必要な資料	博物館での活用に向けた学術情報を保存・蓄積することができる。	年度末の総登録資料件数	件	6,271	6,273	6,273	6,363	6,300
博物館収集保管事業	気仙地域の自然と文化を理解する上で必要な資料	博物館の中に適切な状態で資料を保存・蓄積することができる。	年度末の総受入資料件数 減失・損傷した資料件数	件	3,309 0	3,324 0	3,331 0	3,362 0	3,335 0
博物館展示事業	市民、観光客	展示事業を通して、気仙地域の自然と文化について学ぶことができる。	博物館利用者数	人	9,871	9,589	7,691	7,657	7,700